



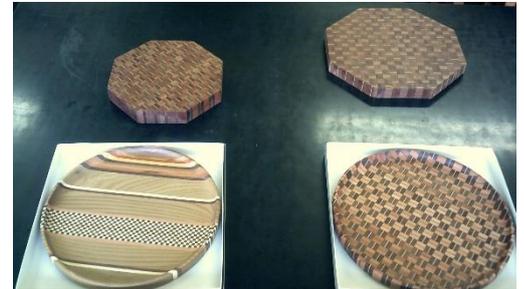
# 酒匂の清流

令和3年12月1日(水)発行

校長 津田 将美

## 伝統から 学ぶ

箱根寄木細工は、日本が世界に誇る伝統文化です。「寄木細工」の名の通り、木を寄せて模様を作る技法のことで、手作業により多種多様な木を細かく精密に削り、成形したものを組み合わせ、100以上の模様を作り出します。器やかからくり箱、コースターや小物入れなど様々なものがひとつひとつ手作りで制作されています。使用する木材ごとによって異なる素材の色をそのまま生かした独特の幾何学模様は、日本人の手仕事の繊細さ、丁寧さを表していると、世界的にも人気です。



本間さんご持参の寄木作品の数々

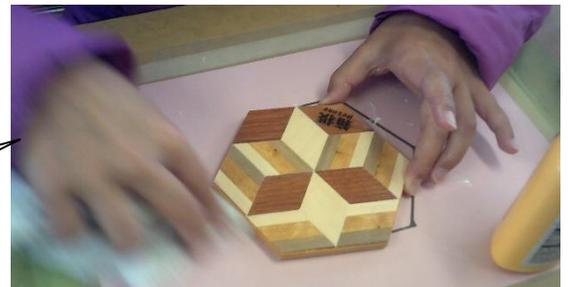
松田小学校では、例年4年生が遠足で寄木細工作りの現場を訪れ、日本の伝統工芸について学んでいますが、ここ2年はコロナ禍により実施できていませんでした。そこで今年度は、箱根寄木美術館の本間博丈さんを講師にお招きし、寄木細工について4年生全体で学ぶことができました。

今回は座学だけでなく、実際に自分で寄木のコースターを作る体験型の学習で、子どもたちも夢中に取り組んでいました。12枚のひし形の寄木が子どもたち一人ひとりに配られ、見本を参考に自分で自由に組み合わせ、オリジナルの寄木のコースターが出来上がっていききました。ポンドでしっかりと成形した後は、紙やすりで丁寧に磨きます。

自分が考えた模様のコースターが、磨かれることで更に輝きを増し、滑らかな手触りになることを楽しみながら作業していたようで、あちらこちらから歓声が湧いていました。

- 「うわ～、こんなにつるつるになった！」
- 「校長先生、私の触ってみて。」
- 「本当だ、すごくすべすべだね。」
- 「今日、持って帰っていいのかな…。」
- 「もちろん、持って帰れるよ。」
- 「やった～！！」

心をこめて  
磨く



子どもたちの感動が、肌にひしひしと伝わってくる熱気の中、授業が進められていきました。作業の難易度は違いますが、実際の寄木細工作りと同じ工程で作業をさせていただいたことで、作品作りへの想いや願い、工夫や苦労なども感じとることができたようです。

自分の作品をじっくり見つめる目や満足気になでる姿を見て、このような体験的な学習の大切さを改めて感じました。

授業の最後に、本間さんが持ってきてくださった本物の寄木細工の作品を、クラスごとに手に取ってみる機会をいただきました。繊細な本物の作品を前に、子どもたちの目は爛々と輝いて待ちきれない様子です。それでも本間さんの説明をしっかりと聞いてから、実際に作品を手にとってみました。子どもたちの歓声から、伝統工芸の良さを実感し学びが深まったことが伝わってきました。



## 本の世界へ いざなう時間

ボランティアの方が来てくださっている朝の読み聞かせの時間に、2年生の教室に向かいました。コロナ対策のため、開け放された扉から見える子どもたち一人ひとりの顔は、しっかりと前を向き、目を輝かせながら読み聞かせを聴いています。教室の雰囲気はほのぼのとあたたかく、とても居心地良く感じたので、思わず中に入ってしまった。



1組では、プロジェクターを使って本の挿絵を映し出していました。子どもたちを惹きつける語り口とデジタル映像のコントラストが新鮮で、子どもたちを本の世界にやさしくいざなっているようでした。



2組では、読み聞かせというよりは語り部の会のように、子どもたちに語りかけるようなあたたかな口調で、物語を身振り手振りで伝えてくださっていました。詩を読んだり、手拍子を交えたりとリズム感のある楽しくわくわくする時間でした。

私は子どもの頃、さとうさとの『誰も知らない小さな国』という本に出会い、「コロボックルシリーズ」に夢中になったことを思い出しました。本がそばにあるだけで、大切な友達がそこにいるようで、時間があると本を開いて読み進めていました。驚きや感動、喜びをもって、人として大切なことや自然のすばらしさなどを押し付けることなく自然に伝えてくれる本はやっぱり、すばらしいものなのだと思います。

そんな昔のことをしみじみと思い出させてくれるあたたかい読み聞かせの時間でした。

## 外部の先生から学ぶ

### ケータイ安全教室 11月19日(金)



ケータイ安全教室が行われました。今年度の講師は、KDDIの方で、5校時、3・4年生、6校時、5・6年生という日程でした。スマホ等に潜む危険をトラブル事例から、「怖さ」を実感し、トラブルを回避するためのポイントや、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法をお話してくださいました。

具体例をわかりやすく伝えていただいたので、子どもたちも「怖さ」を実感しながら学ぶことができましたようです。子どもたちにとって携帯電話でできるいろいろな便利で楽しいものが既得権になってしまうと、なかなか改善に向かうことが難しくなります。ですから、今年度より、3年生まで範囲を広げ、まだ持っていない、又は持ち始めの時からルールやマナーを学ぶこととしました。

各ご家庭におかれましても、これから所持させる場合、或いは既に所持している場合でも、ルールやマナーについては、ねばり強くお子さんと確認しながら、ケータイを是非、便利で生活をあたたかく豊かにするものにしていけるようご指導いただければと思います。

### 薬物乱用防止教室 11月26日(金)

薬物乱用防止教室は、警察署の方を講師にお招きして6年生を対象に行われました。薬物の危険や依存症の怖さなど、実際にあったことなどを通して具体的に教えてくださったので、子どもたちも真剣に学んでいました。

6年生の学ぶ姿勢、返事がしっかりできる態度等、警察の方に褒めていただきました。外部の先生方から、生きた教材を提供していただけることを、今後の学びに更につなげていきます。

